

2023年 芸術工学実習(D)5 「場・空間・身体」

担当教員：木下雄二(美術家)

対象 情報環境デザイン学科 学部3年生

場所 A205室

内容

私たちが暮らすこの世界には様々な空間があります。例えば、授業を受けている教室や私たちが寝泊まりする家。はたまた、ゲームをプレイしたり調べ物をしたりするインターネットも一種の空間と言えるでしょう。私たちはこの空間に身体を使って直接的ないし間接的に介入しているかと思います。果たして、私たちの営みを支えるこの「空間」と呼ばれるものは一体何なのでしょう？

本実習は、リサーチすることと考えることをベースに、「空間」について身体を使った表現を行うことを課題としています。これまでの経験を踏まえ、様々な技術に挑戦し「表現すること」を探求する方や、作品をプレゼンする上での「場」について実践的に考えたいと思っている方に受講してほしいと考えています。

講評会での提出作品の表現方法は問いません。

実習日程

- 6月16日(金) 13:00-14:30 D5(後半)各課題ガイダンス「教員紹介、講座の説明」
14:40-16:10 レクチャー「空間を使った作品の紹介」
- 6月23日(金) 13:00-16:10 プレゼン「あなたの気になった場所についてのリサーチ」
- 6月30日(金) 13:00-16:10 ワークショップ「空間へのアプローチ」
- 7月7日(金) 13:00-16:10 グループディスカッション①、個人制作
- 7月14日(金) 13:00-16:10 中間発表
- 7月21日(金) 13:00-16:10 グループディスカッション②、個人制作
- 7月28日(金) 13:00-16:10 講評会

作品紹介ビデオについて

講評会の発表時間は1人5分間とし、その内、冒頭の3分間を作品紹介ビデオの上映時間とします。そのため、受講者は第7回目までに作品紹介ビデオを完成させてください。作品紹介ビデオの制作に関しては以下の通りの仕様で制作すること。

- ・ビデオの長さ：3分（数秒の前後は許容）
- ・最終的な実装形態が映像作品の場合

__作品時間が3分未満の場合：作品をそのまま使用します。仮に作品時間が2分の場合、残り時間の1分はその後のプレゼン時間に当てること。

__作品時間が3分以上の場合：3分のダイジェストを作成すること

- ・基本的に公開を前提としてビデオを制作してください。著作権等に適宜配慮した上で制作すること。

・mp4 で保存し、実習終了後に提出してください。提出先は第7回目までに提示します。

連絡事項 制作に必要なものは受講者自身で用意すること。

採点基準 出席、実習内での意欲的な姿勢、提出作品を統合して判断します。